



第28回

香川県理学療法士学会

# 一般社団法人香川県理学療法士会 広報誌

巻頭言	1-2
第28回香川県理学療法士学会のご案内	3-4
香川県理学療法士会員リレーエッセイ	5
理事会報告	6
求人広告(介護老人保健施設 渡の里)	6
賛助会員広告	7
編集後記	8



# -巻頭言-

## 「点と点」



香川県理学療法士会  
副会長:山田 耕平

私が理学療法士の資格を取得して、28年が経過しました。私が仕事をする上で自分に問いかけていることがあります。それは、「自分の大切な人に対して理学療法を提供できるのか、自分の職場を大切な人に勧めることができるのか。」ということです。自分の大切な人が病気や怪我で病院を選ぶとき、インターネットで専門分野やクチコミを調べると思います。しかし、理学療法を受ける場合は医師の処方に基づくため、患者さんは基本的に理学療法士を選ぶことができません。せつかく医師を頼りに来院されても、その後の理学療法士が十分期待に応えることができなければ、その方はどう思うでしょうか。今、自分の目の前の患者さんは満足しているのか、幸福を感じているのかを考えるようになりました。この思いが私の学習するきっかけとなり、今も学会やセミナーに参加しているのです。私が28年間この思いを維持することができるのは、多くの人との出会いがあったからです。

理学療法士となった頃は知り合いも少なく、理学療法士としてどのように勉強していいのかわからなかったため、県士会が主催する研修会や学会に参加していました。そのような中で、三豊総合病院の木村啓介先生、当時香川大学医学部附属病院で勤務されていた山田英司先生と出会い、香川県CHEST研究会を発足させました。発足当時は研究会の打ち合わせのための飲み会が主な活動でした。

木村啓介先生は「理学療法士に有名にならなくてもいい、患者に有名になればいい。」と、山田英司先生は「忙しいと思っても、他に忙しい人は沢山いる。自分より賢い医師は患者のためにもっと勉強している。」と酔ったら繰り返し語ってくれました。

次ページに続く…→



私が理学療法士としての方向性に迷った時には、今でもこの二人の言葉を思い出しています。ちなみに、香川県CHEST研究会は西日本ファーマシーの永岡誠司先生の加入により、セミナーが開催できる研究会へと発展しました。

日本理学療法士協会 前会長の半田一登氏が来県された時に「川の流れのように時代は流れている。」と述べられました。これは、医療の世界は日々進歩しているため、何もしなければ取り残されていくことを意味しています。養成校時代の知識で足踏みをしていては、時代に取り残されるばかりでなく、理学療法を受ける患者さんにとって不利益になりかねません。私が理学療法士として仕事を始めた頃は、雑誌や学会で情報を集めていました。雑誌の文献を書き写し、図書室で雑誌を検索して一つの文献に辿り着いていましたので、1日で集めることができるのは2～3本の文献が限度でした。しかし近年は、インターネットで文献を閲覧することができ、一度に多くの情報を集めることができます。また、効率よく重要な情報を取得する方法として、2022年4月よりスタートした新生涯学習制度や日本理学療法士協会が作成したガイドラインは一つのツールになります。

このように、私の理学療法士としての人生は人と人との出会いから始まり、今日に至ります。ここで名前を出させていただいた先生方以外にも、多くの先生方と出会い、今の自分が形成されていると思います。人と人との出会いは点ですが、それが線で結ばれることで今までとは違う視点で物事を考えることができるようになり、行動に移すことでやり抜く力に繋がります。コロナ禍で学会や研修会はWeb開催となり、自宅から参加できて便利になりました。しかし、Webでは点を作ることができず、線を結ぶこともできません。自分が勤務する施設以外の理学療法士と会話することで、驚きと発見を、そして落胆と喜びを感じることができると思います。ウイズコロナ・アフターコロナ時代を見据え、人との出会いを作ってみてもよいかもしれません。



-案内-

# 第28回香川県理学療法士 学会の開催に向けて

## 第28回香川県理学療法士学会 学会長:藤井 保貴



この度、令和5年2月5日に穴吹学園ホールにて、第28回香川県理学療法士学会を開催することになりました。本学会は、理事会での協議の結果、ハイブリッド形式としてライブ配信をしながらも、会場に集合できる形式での開催が決まりました。新型コロナウイルス感染拡大が始まり3年が過ぎようとする中、ようやく集合型の学会が開催できる予定が立ち、大変嬉しく思っています。特に新人の皆さんは、会場での臨場感を満喫しながら、学会を楽しんで下さい。皆様のスキルアップにつながる企画を用意し、感染予防を徹底しながら有意義な学会を運営していきたいと考えています。

本学会のテーマは「歩行」について改めて学習する機会になればと思い、『「みち」を創造する理学療法』としました。皆様も日常の理学療法の中で、数多くの患者さんの歩行能力を向上させ、生活や暮らしを豊かにする支援をされていることと思います。一方で、歩行は健康増進のための重要な活動でもあり、地域ではウォーキングや散歩を日課とし、自らの健康増進や心の健康の為に励んでいる方も多く、理学療法士は「歩行」についての専門家として、多様な知識と技術を必要とされます。

次ページに続く…→



人類が完全に直立二足歩行となったのは約350万年前ともいわれ、その起源は諸説あり、その中でも「1回にできるだけ多くの資源を持ち運ぼうとして二足歩行になった」という説があります。それは、「オスがメスに気に入られるよう多くの食べ物を持って行くためだった」という報告もあり、それから脳の発達や道具の製造、言語の発展などに繋がり、その歩みが現代の人類の「みち」となっています。

特に直立二足歩行に大きく関係するのは股関節であり、今回の特別講演では股関節の研究と臨床を重ね続け、独自の「協調分散理論」を提示されている京都大学大学院医学研究科の建内宏重先生をお招きし、「運動器疾患における多角的理学療法戦略」と題してご講演をお願いしています。また教育講演①は「糖尿病の足部に対する理学療法アプローチ」と題し、東都大学幕張ヒューマンケア学部の河辺信秀先生、教育講演②は「ペインリハビリテーション」と題し、京都橘大学健康科学部の重藤隼人先生にご講演をお願いしています。本学会では、3つの講演を企画し、皆さんの臨床に役立つ企画ができたと思っています。

香川県理学療法士学会も今回で28回目を迎え、これまでの諸先生方の「理学療法士としての歩み」が刻まれています。その中で、記念すべき第1回は1996年に開催され、一般演題の1番目に私が発表をさせて頂いています。その時の学会誌を見ると、内容もまだまだ未熟ですが、「大きな一歩」であったことは間違いありません。本学会で、演題発表される先生方の「大きな一歩」も楽しみであり、活発な質疑応答を期待したいと思います。

香川県の理学療法士の皆さんの、「みちの創造」の一歩となるような学会になることを祈念し、多くの方のご参加をお待ちしています。



第5号より始まりました、香川県理学療法士会会員の皆様による、リレーエッセイ企画第2弾となります。趣味の話や想いを綴って頂き、理学療法士の輪を広げていきたいと思っております。それではバトンパスです!!

第5号

永井整形外科医院 島さん

Relay

第6号

坂出市立病院 高木さん



坂出市立病院  
高木 蓮

僕は就職して約2年半経ちました。趣味はドライブやショッピング、そして今時のYouTube、Netflixの鑑賞です!! 理学療法士を目指したきっかけは、体を動かすことが好きで身体のことを知りたいと思ったからです。勉強は大変でしたが理解していくと楽しいものがありました。

実際に臨床の場で患者さんに『おかげでよくなった、ありがとう。』など、感謝の言葉を頂けると嬉しく、とてもやりがいを感じます。

また、病院の患者さんだけでなく、地域の健康教室にも講師として参加させていただいています。自分の身体機能を知ることで運動の必要性を理解していただき、同時にそれが怪我予防に繋がり、延いては皆さんの笑顔にも繋がればと思っています。今後も患者さんと向き合って、沢山の人の笑顔になっていただけるように精進していきます。



## 理事会報告

開催日	会議名	開催方式
10/13(木)	第1回理事部長会	Zoom開催
10/20(木)	第8回理事会	Zoom開催
11/17(木)	第9回理事会	Zoom開催

## -求人情報-

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士募集(非常勤)  
募集人員:各1名  
勤務時間:9:00~16:00(休憩60分)  
休日:週休2日制(週5日程度の勤務)  
給与:時給1,800円  
保険:健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険有  
業務内容:介護老人保健施設でのリハビリ業務  
(個別機能訓練など)  
施設概要:西岡医院母体の介護老人保健施設・通所リハビリテーション、  
訪問リハビリテーションを実施  
応募方法:随時(電話・履歴書郵送)  
その他:職員とその家族に対する医療費補助等有  
医療法人社団 仁泉会 介護老人保健施設 渡の里  
761-1703 高松市香川町浅野2061  
電話:087-888-8555 担当:松野

# 賛助会員広告

義手・コルセット・補助装具・整形外科医器  
補聴器・車椅子・点字器・杖

## 高松義肢製作所

社団法人 日本義肢協会会員  
代表取締役 東原隆雄

〒761-8058 高松市勅使町 514-3

TEL:087-802-9618

(社)日本義肢協会登録・中四国 139 号

義手義足補装具コルセット  
松葉杖安全杖其他整形器専門

## (有)宮田義肢製作所

〒762-0042 坂出市白金町 3 丁目 5-7

TEL:0877-46-3979

FAX:0877-44-1251

Shikoku  
Medical  
Instruments

## 四国医療器株式会社

本 社 〒760-0020 高松市錦町 1-11-11 Tel (087) 851-3318 (代)

高知 支社 〒780-0814 高知市稲荷町 10-7 Tel (0888) 82-3318 (代)

丸亀事務所 〒763-0072 丸亀市山北字道上 697-4 Tel (0877) 51-3318 (代)

東部事務所 〒761-0701 木田郡三木町池戸 2513 Tel (087) 898-8324 (代)

療養ベッドから介護用品  
リハビリテーション機器に至るまで  
より快適な療養生活のお手伝い  
(有)ゴト一商事高松

高松市東植田町 812 番地 3

TEL: 087-840-4030

FAX: 087-840-4020

PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー

リハノメって?

「リハノメ」はPT・OT・STのための、  
どこでも学べるオンライン  
セミナーサービスです。  
各分野の専門家が臨床経験や  
研究成果に基づいた知識・  
技術をお届けいたします。

1ヶ月見放題プラン  
通常料金 3,080円が  
**980円** 初回限定

1ヶ月見放題プランの  
お申込はこちら! ▶

※表記価格は税込み料金です。



株式会社 gene

お問い合わせはこちらまでお願いいたします

☐ seminar@gene-llc.jp

Tel.052-325-6611

リハノメ 検索

ケアスタッフ、介護向け  
オンラインセミナー

ケアラボ

ナースラボ



## -あとがき-

### 投稿規定

広報部では以下の原稿を募集します。

なお、投稿資格は香川県理学療法士会会員のみのとなります。

- ・各部のイベント報告や周知事項(各部長、部員)
- ・各医療圏域での活動報告や独自の取り組みなどの紹介
- ・勤務先で特徴のある取り組み紹介…etc

投稿頂ける会員の方は、広報部 三村までご連絡ください。

E-mail:mimura@obayashihp.or.jp

### 新企画のお知らせ

第5号より会員リレーエッセイを始めています!!

ご指名があった会員の方は、趣味やPR等何でも結構ですので、原稿投稿の程、宜しくお願いいたします。

依頼をさせて頂いた方から、さらに知り合いを指名して頂き県内の理学療法士皆さんにスポットを当てたいと思っています。ご協力宜しくお願いいたします。

### 編集後記

11月号の担当を致しました広報部 西山です。この広報誌が会員の皆様、そして地域の方々への情報発信ツールの1つになればと思います。皆様のご意見も頂きつつ、情報の更なるグレードアップに努めて参ります。

さて、世界情勢は混迷を極め我々の私生活にも影響が出始めております。また、新型コロナウイルス第8波も警戒され、再び職務に影響が出る恐れも増えています。そのような中でもリハビリの最前線において懸命に患者様・利用者様に向き合い、「全人間的復権」を果たすべく尽力されている皆様方の今後のご活躍を期待しております。